

[特産・伝統野菜の活用および生産性向上]

コマツナ旧品種の周年栽培における特性

野呂孝史・森 研史

(江戸川分場)

【要 約】昭和期後半に多く栽培されていた固定種、コマツナ同士F₁種は、最近の品種より収量性、作業性および市場性も低い。しかし①栽培時期の選択、栽培管理の改善などによる品質向上、②最近の品種にはない外観、風味・食感を生かした差別化、などが可能な品種群である。

【目 的】

昭和期後半に多く栽培されていた品種（以下、旧品種）は本来のコマツナの形態および生育特性を持っている。また種苗会社の種子販売も継続されているなど、根強い需要もある。しかし最近の品種と比べ収量性等に問題があるため、東京の伝統野菜の一つとして栽培を推奨するには、品種の選定および栽培の改善が必要である。本試験は昨年度に引き続き品種の特性を周年栽培で明らかにし、品種選定の一資料とする。

【方 法】

固定種として‘ごせき晩生’他1品種、コマツナ同士F₁種として‘かつしか’他5品種、また参考として‘夏楽天’他1品種を供試した。播種はガラス温室内に7月12日、9月24日、11月5日、1月6日および4月18日、60cmベット条間15cmの3条、6cm間隔の点播・1穴2株（平均株間3cm）とした。施肥量は10aあたり3要素成分量で7月、9月および4月播種は5kg、11月播種は7.5kg、1月播種は10kg。

【成果の概要】

- 1) 固定種(‘ごせき晩生、新黒水菜’)：播種から収穫までの日数は‘きよすみ’より短く、生育は早かった。展開葉数は少なく、地上部重も小さかった。草姿、葉色、生育の揃いなども最近の品種より劣ったが、葉型、葉色などの外観および食感・風味(2004年森ら)に明らかな特徴がみられた。また秋および冬播き以外の作型では栽培が困難とされていたが、春および夏播きでもかん水が制限できるハウス栽培では可能である。
- 2) コマツナ同士F₁種：収穫までの日数、展開葉数および地上部重は固定種と大差ないが、草姿、葉色、生育の揃いなどは改善され、良好であった。その中で‘裕次郎’の生育はやや緩慢で、展開葉数は多く、収量性も高く、最近の品種に近い形質であった。
なお江東地域で、現在でも多く栽培されている(夏季を除く作型)‘夏楽天’は本系統の品種ではないが、同様な特性を持った立性の強い、生育揃いが良好な品種であることが明らかになった。
- 3) 以上から固定種を始め、改良されたコマツナ同士F₁種は、最近の品種と比較すると収量性、作業性および市場性も低いことが確認された。しかし①栽培時期の選択、栽培管理の改善などによる品質向上、②最近の品種にはない外観、風味・食感を生かした差別化、などが可能な品種群である。したがって今後、外観、食味などの品種特性の解明、品種の選定および栽培適期、管理の検討を進める。

表1. ごせき晩生(後閑)

播種月日	地上部重	展開葉数	播種後日数	最大葉長
月 日	g	葉	日	cm
7.12	10.2	5.1	20	23.4
9.24	7.2	4.2	27	24.6
11.5	13.0	4.4	38	27.0
1.6	18.5	5.2	54	24.0
4.18	15.7	4.6	27	26.1
平均値	12.9	5.0	33.2	25.0
C.V.%	34.1	8.8	40.1	6.0

表2. 新黒水菜(日本農林社)

播種月日	地上部重	展開葉数	播種後日数	最大葉長
月 日	g	葉	日	cm
7.12	10.0	4.1	20	23.1
9.24	7.9	4.1	27	25.0
11.5	12.3	4.1	38	25.5
1.6	15.3	4.8	54	25.0
4.18	16.8	4.3	27	27.3
平均値	12.5	4.3	33.2	25.2
C.V.%	29.6	7.0	40.1	6.0

表3. かつしか(渡辺農事)

播種月日	地上部重	展開葉数	播種後日数	最大葉長
月 日	g	葉	日	cm
7.12	12.0	5.4	20	24.1
9.24	8.8	4.4	27	25.1
11.5	15.7	4.5	38	28.3
1.6	22.3	4.9	54	27.7
4.18	16.0	4.4	26	26.2
平均値	15.0	4.7	33.0	26.3
C.V.%	34.0	9.1	40.6	6.5

表4. ぱぱさん(武蔵野)

播種月日	地上部重	展開葉数	播種後日数	最大葉長
月 日	g	葉	日	cm
7.12	9.2	5.0	19	22.9
9.24	8.5	4.7	27	24.7
11.5	14.3	5.0	38	27.1
1.6	18.8	5.2	54	25.4
4.18	14.0	4.5	26	25.4
平均値	13.0	4.9	32.8	25.1
C.V.%	32.3	5.7	41.8	6.0

表5. みすぎ(サカタのタネ)

播種月日	地上部重	展開葉数	播種後日数	最大葉長
月 日	g	葉	日	cm
7.12	11.3	5.7	19	24.8
9.24	9.3	4.9	27	26.1
11.5	16.7	5.2	38	29.8
1.6	19.0	5.0	54	26.3
4.18	16.0	5.0	26	27.3
平均値	14.5	5.2	32.8	26.9
C.V.%	27.6	6.2	41.8	7.1

表6. せいせん7号(協和)

播種月日	地上部重	展開葉数	播種後日数	最大葉長
月 日	g	葉	日	cm
7.12	10.7	5.1	19	24.4
9.24	9.2	4.4	27	25.8
11.5	13.3	4.7	38	28.5
1.6	19.0	4.9	54	26.7
4.18	16.7	4.7	26	28.1
平均値	13.8	4.8	32.8	26.7
C.V.%	29.7	5.4	41.8	6.4

表7. 裕次郎(トキタ)

播種月日	地上部重	展開葉数	播種後日数	最大葉長
月 日	g	葉	日	cm
7.12	11.2	5.9	20	24.3
9.24	8.8	5.2	27	22.3
11.5	18.2	5.9	38	25.1
1.6	25.8	6.8	60	24.8
4.18	21.7	6.3	27	25.3
平均値	17.1	6.0	34.4	24.4
C.V.%	41.5	9.8	45.6	4.9

表8. 井草(日本農林社)

播種月日	地上部重	展開葉数	播種後日数	最大葉長
月 日	g	葉	日	cm
7.12	10.4	5.9	20	23.0
9.24	8.8	4.6	27	23.6
11.5	15.3	5.1	38	26.6
1.6	22.7	5.3	57	25.6
4.18	16.2	5.0	26	26.5
平均値	14.7	5.2	33.6	25.1
C.V.%	37.4	9.2	43.5	6.8

参考表1. 夏楽天(タキイ)

播種月日	地上部重	展開葉数	播種後日数	最大葉長
月 日	g	葉	日	cm
7.12	8.8	5.5	20	23.0
9.24	6.6	4.9	29	23.5
11.5	13.5	5.3	38	24.3
1.6	25.0	6.4	60	25.7
4.18	17.3	5.0	27	27.4
平均値	14.2	5.4	34.4	24.8
C.V.%	51.4	11.1	45.6	7.3

参考表2. きよすみ(サカタのタネ)

播種月日	地上部重	展開葉数	播種後日数	最大葉長
月 日	g	葉	日	cm
7.12	16.2	7.7	23	23.4
9.24	11.3	6.9	31	23.0
11.5	14.8	6.8	42	22.9
1.6	34.2	7.9	64	26.9
4.18	22.7	7.3	30	26.2
平均値	19.8	7.3	38.0	24.5
C.V.%	45.5	6.6	42.1	7.8

表9. 品種特性

品 種	立性の強弱	節間伸長の有無	胚軸の長短	葉型	袴の有無	葉色の濃淡	カッパングの有無	生育の揃い
ごせき晩生	弱	微	竹短	長円へら型	有	淡・光沢あり	有	竹不良
新黒水菜	弱	微	竹短	長円形	有	淡・光沢あり	有	竹不良
かつしか	中	有	中	円形	無	中	無	竹良
裕次郎	中	微	中	長円形	有(少)	中・光沢あり	無	竹良
ぱぱさん	竹弱	微	竹長	円形	無	中	無	中
みすぎ	竹弱	有	竹長	円形	無	竹淡	無	中
せいせん7号	竹弱	甚	中	円形	無	竹淡	無	中
井草	竹弱	有	竹短	竹長円形	無	中	無	中
夏楽天	竹強	有	中	長円形	有(少)	中	無	竹良
きよすみ	中	無	中	長円形	無	竹濃	有(少)	竹良